

日中経済協会 賛助会員セミナー
「安徽省経済の現状と課題」

「合肥モデル」

中国における地方経済の新たな発展可能性

2026年5月28日

清華大学・野村総研中国研究センター(TNC)

理事 副センター長 川嶋 一郎



国内外から高評価を受ける合肥の社会・産業発展

- **都市総合活カランキング** 中国城市規画設計研究院「中国城市繁栄活力評価報告2025」
①杭州、②**合肥**、③武漢、④上海、⑤北京、⑥成都、⑦重慶、⑧蘇州、⑨鄭州、⑩長沙
- **都市創新能力ランキング** 科技部中国科技信息研究所「国家創新型城市創新能力評価報告2025」
①北京、②上海、③深圳、④杭州、⑤南京、⑥西安、⑦広州、⑧武漢、⑨長沙、⑩**合肥**
- **Top100 イノベーション クラスタ** 世界知的財産権組織(WIPO)「Global Innovation Index 2025」
合肥 2024年:世界44位→2025年:世界39位(中国で最も成長著しい産業集積地域)

安徽省合肥市の位置



出所)川嶋作成

長江デルタの一人あたりGDP推移

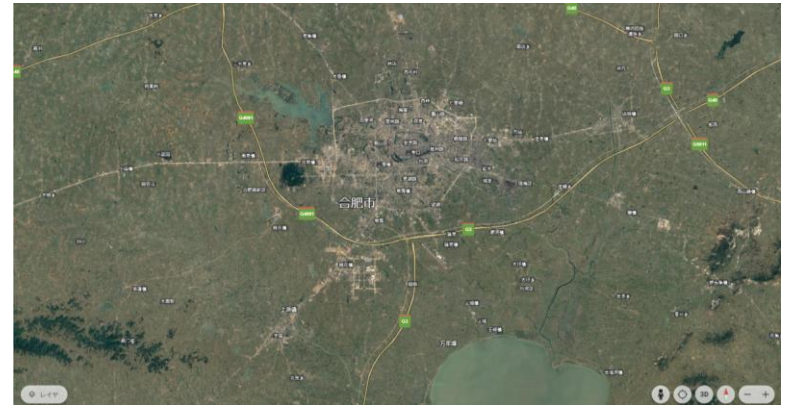
	2000年	2024年	増加幅
上海市	3万4547元	21万7140元	6.3倍
江蘇省	1万1773元	16万0694元	13.6倍
浙江省	1万3261元	13万5565元	10.2倍
安徽省	4867元	8万2694元	17.0倍
全国平均	7078元	9万5749元	13.5倍

出所)国家統計局「中国統計年鑑」2001年版、2025年版より作成

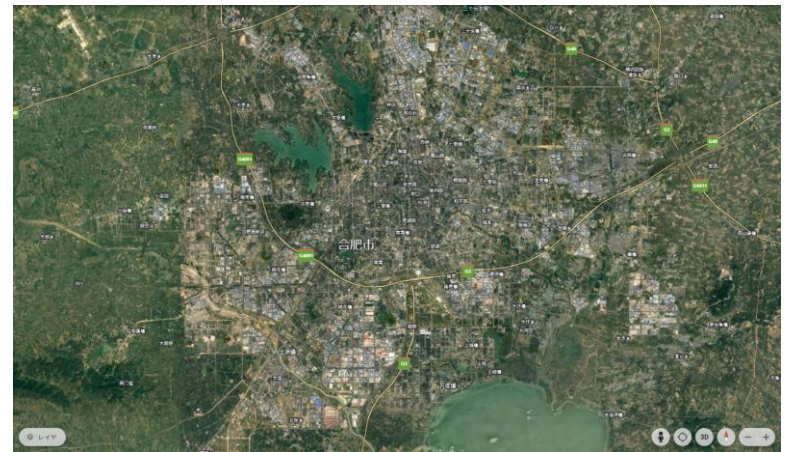
社会や経済の急成長・急拡大

市街地拡大の様子

<2000年>

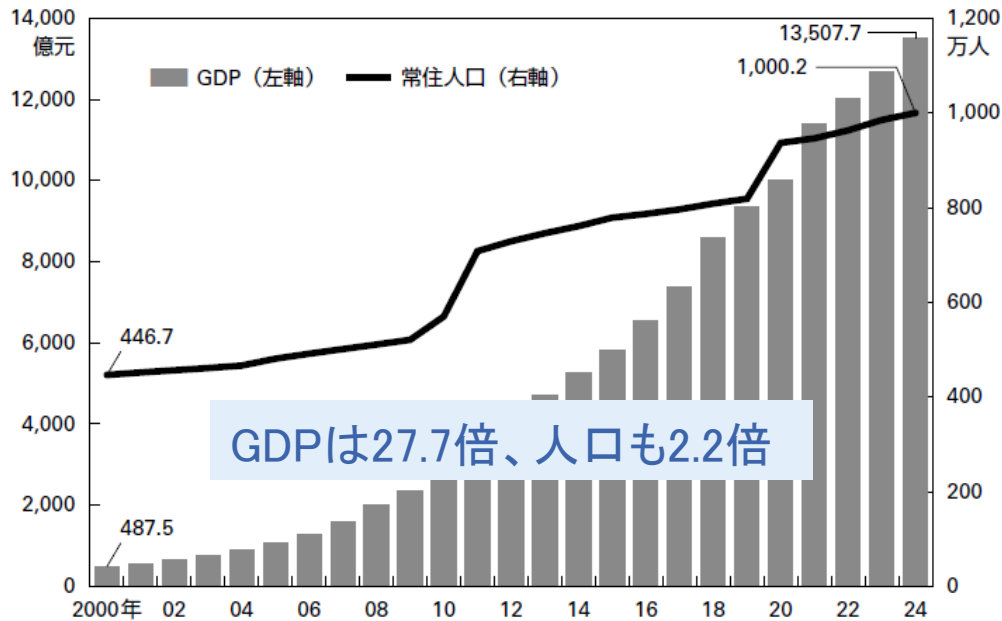


<2024年>



出所) Google Earth

合肥市の域内総生産(GDP)と常住人口の推移



※2011年に隣接する巢湖市の一部が合肥市に編入された。2010年、2020年の人口は「人口普查」(国勢調査)の結果に基づき、それ以前の数値が修正されている
 出所)「合肥統計年鑑」各年版。2024年のGDP、常住人口は合肥市統計局発表値(「合肥市2024年国民经济和社会发展統計公報」)

「開発区モデル」の終焉と新たな地方発展モデル

＜改革開放後の「開発区モデル」＞

- 地方政府、開発区政府が、
- 開発区、高新区、科技园、工業園区…などに、
- 国内外の企業を誘致



- 誘致対象業種に大差は無く、
- 用地価格や租税などの優遇措置で競い合い

＜地方経済の新たな発展モデル＞

- 地方政府、開発区政府が主導し、
- 「**地元の資源**」をフル活用、
(中核企業、周辺産業、大学・研究機関、人材…)
- 川上～川下の集積(**クラスター形成**)を通じて、
- 重点産業を育成

「新たなモデル」の萌芽が見られる主な都市



出所)川嶋作成

合肥におけるハイテク産業の集積

<液晶パネル産業>

- 合肥京東方(BOE)の10.5世代工場は世界最大の液晶パネル工場
- 産業クラスターの形成
 - 材料: ガラス基板、光学フィルム、カラーフィルター、化学材料、ターゲット材料…
 - 装置: 成膜・露光・エッチング装置、検査・測定装置、搬送装置…
 - 組立: ディスプレイ、テレビ…

合肥BOE工場



出所) 2025年1月、川嶋撮影

<新エネ車(NEV)産業>

- 2024年NEV生産台数130万台は、深圳に次いで国内2位
- 蔚来(NIO)、合肥BYD、合肥長安汽車、安徽江淮汽車(JAC)、安徽VW…等
- 車載電池・同材料、駆動モーター、電子制御システム…等、部品・材料サプライヤーが数百社集積

NIO電池交換ステーション



出所) 2025年1月、川嶋撮影

合肥モデル：中核企業の誘致「借船出海」

液晶パネル産業の事例
(拙稿 p.60～61)

<契機>

- 2004年初、合肥ハイアール(テレビ製造)が液晶パネル調達難に直面
- 経済技術開発区のリーダーが液晶パネルメーカーBOE(本社:北京)にコンタクト開始

<中核企業誘致>

- 2007年後半、合肥市政府がBOEに「資金提供」を申し出
- 2008年9月、党市委(孫金龍書記)が市政府、市人民代表大会、政治協商会議市委員会など百数十名の拡大会議で、BOEと提携し液晶パネル工場建設を決定(地下鉄建設を棚上げして資金確保)
- 新設される合肥BOEの資本金90億元は市政府が確保(傘下投資会社による出資、戦略投資家探し)

<出資・立上げ支援>

- 2009年4月、着工 ～ 2010年11月、量産開始(中国初の第6世代TFT液晶パネル工場)
- 総投資額175億元(新会社への出資のほか、銀行からの資金調達も市政府が支援)
- 市政府は出資のほか、工場用地の整備、用地価格の引き下げ、エネルギー供給、財政優遇、融資利子補給など、多方面にわたる支援提供

<地場大口顧客との橋渡し>

- 合肥市内のテレビ/パソコン組立工場(ハイアール、長虹/Lenovo…等)に供給

<継続フォロー>

- 2012年、第8.5世代工場の建設(総投資額285億元、一部を市政府が出資)
- 2015年、第10.5世代工場の建設(総投資額400億元、一部を市政府が出資)

合肥モデル：産業発展を実現した要因①

1. 交通網の整備で活用が進んだ既存資源

1) 立地優位性（巨大市場向け商品供給基地）

- 「半径500km以内に5億人の市場」

2) 大学・研究機関と人材

- 中国科学技術大学をはじめ、50以上の高等教育機関
- 「科学教育基地」の認定により、多数の国家級研究機関

中国科学技術大学



出所) 2025年1月、川嶋撮影

2. 市政府指導者の強力なリーダーシップ

■ 共産党合肥市委員会 孫金龍書記（2005～11年）

- 果敢な決断と実行（巨額投資、違法建築撤去による再開発…）
- 合肥の発展可能性の極大化・可視化
- 後継人材育成

孫金龍氏

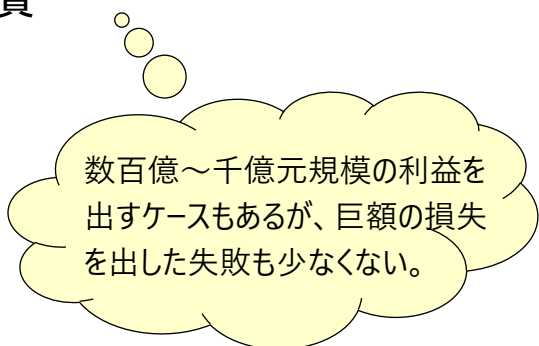


出所) 中国生態環境部HP

合肥モデル：産業発展を実現した要因②

3. 市政府による巨額なエクイティ投資（市政府傘下の投資会社を通じた投資）

- 市場ルールや契約に則った規律ある投資
 - 保有株式の売却タイミング・方法、価格算定法、役員派遣…
- 「65日の意思決定」：2020年、蔚来(NIO)への100億元出資
 - 専門家に委託し以下を評価した上で出資判断
 - ①NIOの技術、製品、サプライチェーンの評価
 - ②「電池交換方式」の将来性評価
 - ③財務・法務デューデリジェンス



数百億～千億元規模の利益を出すケースもあるが、巨額の損失を出した失敗も少なくない。

4. 「鏈長制」による産業発展の推進

- 重点産業ごとに、産業発展推進を担うチームを組成
 - 鏈長：市政府や開発区の指導層～幹部
 - 鏈主企業：業界をリードする中核企業（BOE、Lenovo、NIO…）
 - メンバー：大学・研究機関の専門家、業界団体関係者、市政府関連部局…
- クラスター構造の分析～誘致・育成対象検討～誘致活動・投資プロジェクト支援

「合肥モデル」の行方と課題

■ 「借船出海」からの脱却＝地場有力企業の成長

- 音声認識技術: 科大訊飛 (iFLYTEK)
- 量子サイエンス: 国盾量子 (QuantumCTek)
本源量子 (OriginQuantum Computing)
国儀量子 (GuoyiQuantum)



出所) 2025年1月、川嶋撮影

■ 「場景創新」(シナリオイノベーション)による産業創出の挑戦

- 技術開発の成果をビジネスとして結実させるための「場」を提供
- 旧空港跡地「駱崗公園」(12.7 km²)で各種実証実験
 - ・コネクテッドカー (乗用車、商用車、自動運転車など)
 - ・低空経済 (ドローンを使った物流、空飛ぶタクシーなど)
 - ・都市インフラ運営・管理 (街路樹管理、ゴミ・違法駐車管理、水辺などの安全管理など)

2025年3月に世界初の商業運航ライセンスを取得した空飛ぶタクシー



出所) 2025年7月、川嶋撮影